



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場取引所 札

上場会社名 日本グランデ株式会社

コード番号 2976

URL <https://www.nippon-grande.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 平野 雅博

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 矢代 俊二

(TEL) 011-211-8124

定時株主総会開催予定日 2026年6月26日

配当支払開始予定日 2026年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,655	35.9	139	—	111	—	87	—
2025年3月期	2,690	△30.9	△88	—	△118	—	△66	—

(注) 包括利益 2026年3月期 88百万円( —%) 2025年3月期 △66百万円( —%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	65.01	—	4.4	2.1	3.8
2025年3月期	△49.30	—	△3.4	△1.9	△3.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	4,823	2,008	41.6	1,494.77
2025年3月期	5,690	1,920	33.7	1,429.27

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,008百万円 2025年3月期 1,920百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,103	△0	△516	1,191
2025年3月期	△312	90	△658	604

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	13	15.4	0.7
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2027年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

## 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,542	△30.4	102	△26.1	57	△48.8	40	△53.3	30.33

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	1,343,600株	2025年3月期	1,343,600株
2026年3月期	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期	1,343,600株	2025年3月期	1,343,600株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,125	51.5	76	—	70	—	58	—
2025年3月期	2,063	△39.6	△135	—	△158	—	△95	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	43.58	—
2025年3月期	△71.19	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	4,384	1,716	39.1	1,277.52
2025年3月期	5,286	1,657	31.3	1,233.45

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,716百万円 2025年3月期 1,657百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、政府の経済対策や賃上げの持続などによる個人消費の持ち直しや設備投資の堅調な推移を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の通商施策による影響や中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりに伴うエネルギー・原材料価格の変動など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、札幌市の新築分譲マンション市場は、建築資材及び人件費の上昇により高騰を続ける建築コストや地価を背景に、依然として販売価格の高止まりの状態が続いております。また、住宅ローン金利の上昇も続いており、今後の住宅ローン金利の上昇も含めたお客様の購入意欲減退リスクが市場にあたる影響等、引き続き懸念される状況となっております。

このような事業環境の中、当社グループは、不動産分譲事業について居住用新築分譲マンション及び新築分譲戸建住宅の販売、買取再販、媒介・仲介、リフォーム事業の受注等継続して取り組み、また、厳選した用地取得を目指し、新築分譲マンション及び新築分譲戸建用地の新規開発にも取り組んでまいりました。

これらの状況により、当社グループの主力事業であります不動産分譲事業におきましては、当連結会計年度において、新築では分譲マンション43戸及び分譲戸建住宅4戸の引渡、前期繰越在庫では分譲マンション18戸の引渡となり、総引渡戸数は65戸(前年同期比22戸増)となりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は3,655,302千円(前年同期比35.9%増)、営業利益は139,135千円(前年同期は88,818千円の営業損失)、経常利益は111,656千円(前年同期は118,404千円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は87,353千円(前年同期は66,237千円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (不動産分譲事業)

当連結会計年度における分譲マンション事業におきましては、新築分譲マンション1物件「グランファーレ平岸パークヒルズ」を竣工し43戸の引渡を完了したほか、前期繰越在庫18戸の引渡を含めた61戸(前年同期比25戸増)の引渡を行っております。

分譲戸建住宅事業におきましては、新築分譲戸建住宅「ラ・レジーナ新さっぽろ」2戸及び「ラ・レジーナ札幌」2戸の合計4戸(前年同期比3戸減)の引渡を行っております。なお、当第3四半期連結会計期間に「ラ・レジーナ北21条」の販売を開始いたしました。

当連結会計年度における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は65戸(前年同期比22戸増)、売上高は2,297,434千円(前年同期比36.4%増)となりました。

その他の売上高は563,576千円(前年同期比151.2%増)となりました。主な増加の要因は、当第3四半期連結会計期間において、販売用不動産土地を売却したためであります。

この結果、不動産分譲事業の売上高は2,861,011千円(前年同期比49.9%増)となり、セグメント利益は95,984千円(前年同期は128,735千円のセグメント損失)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当連結会計年度におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、賃貸料収入は353,333千円(前年同期比0.3%増)となりました。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は67,872千円(前年同期比1.6%増)となりました。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は193,393千円(前年同期比5.1%増)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は614,599千円(前年同期比1.9%増)となり、セグメント利益は199,694千円(前年同期比3.5%減)となりました。

## (不動産関連事業)

当連結会計年度におけるマンション管理事業におきましては、分譲マンションの管理棟数が増加したこと等により、売上高は141,736千円(前年同期比5.6%増)となりました。

その他の売上高は、37,954千円(前年同期比14.9%減)となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は179,691千円(前年同期比0.5%増)となり、セグメント利益は28,740千円(前年同期比22.7%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,868,584千円となり、前連結会計年度末に比べて859,353千円減少いたしました。これは主に、売掛金が6,755千円、販売用不動産が782,764千円、仕掛販売用不動産が662,124千円、未収還付法人税等が6,565千円それぞれ減少した一方、現金及び預金が587,263千円増加したことによるものであります。

固定資産は2,952,069千円となり、前連結会計年度末に比べて6,635千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が2,029千円減少したことによるものであります。

繰延資産は2,863千円となり、前連結会計年度末に比べて904千円減少いたしました。これは社債発行費が904千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は4,823,516千円となり、前連結会計年度末に比べて866,893千円減少いたしました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は809,032千円となり、前連結会計年度末に比べて698,728千円減少いたしました。これは主に、買掛金及び工事未払金が429,189千円、短期借入金が254,200千円、契約負債が54,434千円、預り金が20,054千円それぞれ減少した一方、未払法人税等が8,363千円、未払消費税等が45,138千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,006,114千円となり、前連結会計年度末に比べて256,170千円減少いたしました。これは主に、社債が50,000千円、長期借入金が210,664千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,815,147千円となり、前連結会計年度末に比べて954,899千円減少いたしました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は2,008,369千円となり、前連結会計年度末に比べて88,006千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益87,353千円の計上に伴い、利益剰余金が87,353千円増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は41.6%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,191,566千円となり、前連結会計年度末に比べて587,263千円増加いたしました。

当連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,103,754千円(前年同期は312,268千円の使用)となりました。これは主に、仕入債務の減少額429,189千円、契約負債の減少額54,434千円、預り金の減少額20,054千円の減少要因があった一方、税金等調整前当期純利益の計上111,656千円、減価償却費の計上90,621千円、売上債権の減少額6,755千円、棚卸資産の減少額1,356,485千円、未払消費税等の増加額45,138千円の増加要因があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は248千円(前年同期は90,782千円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出216千円の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は516,243千円(前年同期は658,780千円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の減少額254,200千円、長期借入金の返済による支出210,664千円、社債の償還による支出50,000千円の減少要因があったことによるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、当社の主力事業の不動産分譲事業においては、新築分譲マンション及び新築分譲戸建住宅の新規発売物件の販売スケジュールについて、状況の分析・検証を行い、進捗管理を徹底して目標達成すべく取り組んでまいります。不動産賃貸事業においては、保有不動産は現在まで高稼働率を維持して推移しており、今後も高稼働率の維持に努め安定収益を確保し、さらなる収益基盤の安定化を図ってまいります。不動産管理事業においては、当社マンションの供給による管理戸数の確保と大規模修繕工事受注に伴う収益の確保に取り組んでまいります。

これらにより、2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高2,542,275千円、営業利益102,853千円、経常利益57,190千円、親会社株主に帰属する当期純利益40,753千円を見込んでおります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益還元を重要な課題と考えておりますが、将来の事業拡大に備え、内部留保による経営基盤・財務体質の強化を図りながら、可能な限り株主の皆様へ還元していくことを利益配分に関する基本方針と考えております。

当期の期末配当金につきましては、2025年7月15日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、1株あたり10円の配当とさせていただきます。

また、次期の配当金につきましては、基本方針に基づき検討を進めてまいります。現時点において配当の額は未定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面の経営環境における連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を勘案し、従来どおり日本基準を適用する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、経営環境の変化、海外取引の可能性並びに株主構成の動向等を総合的に判断し、合理性を踏まえたうえで適切に対応してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	604,303	1,191,566
売掛金	24,773	18,017
商品	133	133
販売用不動産	782,764	—
仕掛販売用不動産	1,242,452	580,327
仕掛品	1,587	4,078
貯蔵品	1,217	767
その他	70,706	73,694
流動資産合計	2,727,937	1,868,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,968,413	3,026,686
減価償却累計額	△842,646	△928,906
建物及び構築物(純額)	2,125,767	2,097,779
車両運搬具	4,652	4,652
減価償却累計額	△4,652	△4,652
車両運搬具(純額)	0	0
土地	767,893	795,984
リース資産	8,896	8,896
減価償却累計額	△8,540	△8,896
リース資産(純額)	355	—
その他	25,720	25,673
減価償却累計額	△13,883	△15,612
その他(純額)	11,837	10,061
有形固定資産合計	2,905,854	2,903,824
無形固定資産	4,714	2,702
投資その他の資産		
投資有価証券	19,357	20,510
長期貸付金	2,125	1,680
繰延税金資産	2,481	1,911
その他	24,170	21,439
投資その他の資産合計	48,136	45,542
固定資産合計	2,958,704	2,952,069
繰延資産		
社債発行費	3,767	2,863
繰延資産合計	3,767	2,863
資産合計	5,690,409	4,823,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	465,875	36,685
短期借入金	572,200	318,000
1年内返済予定の長期借入金	210,664	210,664
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
リース債務	1,379	—
未払金	10,436	14,572
未払法人税等	12,398	20,762
契約負債	66,636	12,201
賞与引当金	5,741	6,186
株主優待引当金	3,182	3,224
預り金	32,612	12,558
その他	76,635	124,176
流動負債合計	1,507,761	809,032
固定負債		
社債	175,000	125,000
長期借入金	1,993,587	1,782,923
繰延税金負債	32,722	35,384
その他	60,976	62,807
固定負債合計	2,262,285	2,006,114
負債合計	3,770,046	2,815,147
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	182,726	182,726
資本剰余金	82,726	82,726
利益剰余金	1,652,993	1,740,346
株主資本合計	1,918,445	2,005,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,918	2,571
その他の包括利益累計額合計	1,918	2,571
純資産合計	1,920,363	2,008,369
負債純資産合計	5,690,409	4,823,516

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,690,300	3,655,302
売上原価	2,241,714	3,074,233
売上総利益	448,585	581,068
販売費及び一般管理費	537,403	441,933
営業利益又は営業損失(△)	△88,818	139,135
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,375	2,658
受取手数料	1,193	1,740
金利スワップ評価益	1,222	—
違約金収入	2,923	1,438
補助金収入	—	3,414
その他	6,991	5,159
営業外収益合計	13,705	14,411
営業外費用		
支払利息	34,319	35,933
社債利息	925	1,572
支払手数料	4,800	—
金利スワップ評価損	—	160
その他	3,247	4,223
営業外費用合計	43,292	41,889
経常利益又は経常損失(△)	△118,404	111,656
特別利益		
固定資産売却益	5,494	—
保険解約返戻金	51,996	—
特別利益合計	57,491	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△60,913	111,656
法人税、住民税及び事業税	12,818	21,367
法人税等調整額	△7,494	2,935
法人税等合計	5,323	24,303
当期純利益又は当期純損失(△)	△66,237	87,353
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△66,237	87,353

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△66,237	87,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△726	652
その他の包括利益合計	△726	652
包括利益	△66,964	88,006
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△66,964	88,006

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	182,726	82,726	1,736,697	2,002,149
当期変動額				
剰余金の配当			△17,466	△17,466
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△66,237	△66,237
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△83,704	△83,704
当期末残高	182,726	82,726	1,652,993	1,918,445

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,644	2,644	2,004,794
当期変動額			
剰余金の配当			△17,466
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△66,237
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△726	△726	△726
当期変動額合計	△726	△726	△84,430
当期末残高	1,918	1,918	1,920,363

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	182,726	82,726	1,652,993	1,918,445
当期変動額				
剰余金の配当				—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			87,353	87,353
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	87,353	87,353
当期末残高	182,726	82,726	1,740,346	2,005,798

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,918	1,918	1,920,363
当期変動額			
剰余金の配当			—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			87,353
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	652	652	652
当期変動額合計	652	652	88,006
当期末残高	2,571	2,571	2,008,369

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△60,913	111,656
減価償却費	91,827	90,621
賞与引当金の増減額(△は減少)	847	445
株主優待引当金の増減額(△は減少)	210	42
受取利息及び受取配当金	△1,375	△2,658
金利スワップ評価損益(△は益)	△1,222	160
保険解約返戻金	△51,996	—
支払利息	34,319	35,933
社債利息	925	1,572
支払手数料	4,800	—
社債発行費償却	753	904
固定資産売却益	△5,494	—
固定資産除却損	—	0
補助金収入	—	△3,414
売上債権の増減額(△は増加)	△97	6,755
棚卸資産の増減額(△は増加)	38,737	1,356,485
未収消費税等の増減額(△は増加)	10,834	△3,958
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,205	45,138
仕入債務の増減額(△は減少)	△383,088	△429,189
前受金の増減額(△は減少)	△619	1,100
契約負債の増減額(△は減少)	36,793	△54,434
未払金の増減額(△は減少)	△6,197	4,136
預り金の増減額(△は減少)	11,374	△20,054
その他	△16,790	170
小計	△284,166	1,141,411
利息及び配当金の受取額	1,375	2,658
補助金の受取額	—	3,414
利息の支払額	△35,727	△34,958
法人税等の支払額	△12,293	△17,027
法人税等の還付額	18,543	8,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	△312,268	1,103,754
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△161	△202
有形固定資産の取得による支出	△127	△216
有形固定資産の売却による収入	37,424	—
貸付金の回収による収入	1,639	674
敷金及び保証金の返還による収入	12	37
敷金及び保証金の差入による支出	—	△540
保険積立金の解約による収入	51,996	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,782	△248
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△626,900	△254,200
長期借入金の返済による支出	△227,632	△210,664
社債の発行による収入	245,479	—
社債の償還による支出	△25,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△2,461	△1,379
配当金の支払額	△17,466	—
支払手数料の支払額	△4,800	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△658,780	△516,243
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△880,265	587,263
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,569	604,303
現金及び現金同等物の期末残高	604,303	1,191,566

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(販売用不動産から有形固定資産への振替)

当連結会計年度において、所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替えております。その内容は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
建物及び構築物	一千円	58,272千円
土地	—	28,090
計	—	86,363

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「不動産分譲事業」、「不動産賃貸事業」及び「不動産関連事業」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの事業内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	事業内容
不動産分譲事業	マンション及び戸建住宅の分譲、買取再販、不動産仲介・媒介、リフォーム
不動産賃貸事業	サービス付き高齢者向け住宅の賃貸・支援サービス、収益不動産の賃貸・賃貸管理
不動産関連事業	不動産管理、保険代理店業務、業務委託斡旋、設計・監理、家具・カーテン販売

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースであります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,908,505	602,934	178,860	2,690,300	—	2,690,300
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	16,915	16,915	△16,915	—
計	1,908,505	602,934	195,776	2,707,216	△16,915	2,690,300
セグメント利益又は 損失(△)	△128,735	206,965	37,188	115,418	△204,237	△88,818
セグメント資産	2,044,486	2,968,350	18,543	5,031,379	659,029	5,690,409
その他の項目						
減価償却費	468	88,913	166	89,548	2,279	91,827
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	127	—	—	127	—	127

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- セグメント利益又は損失(△)の調整額△204,237千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
  - 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,861,011	614,599	179,691	3,655,302	—	3,655,302
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	16,942	16,942	△16,942	—
計	2,861,011	614,599	196,633	3,672,244	△16,942	3,655,302
セグメント利益	95,984	199,694	28,740	324,419	△185,284	139,135
セグメント資産	597,787	2,966,544	13,394	3,577,726	1,245,789	4,823,516
その他の項目						
減価償却費	241	88,276	44	88,562	2,058	90,621
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	—	216	—	216	—	216

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額△185,284千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
  - 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,429.27円	1,494.77円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△49.30円	65.01円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△66,237	87,353
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (千円)	△66,237	87,353
普通株式の期中平均株式数 (株)	1,343,600	1,343,600

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。